

平成26年第1回臨時教育委員会

平成26年2月14日(金) 午後2時00分
江別市教育庁舎 大会議室

出席者	委員長	長谷川 清 明	説明員	教育部長	佐 藤 哲 司
	委員	相 馬 範 子		学校教育支援室長	
	委員	上 野 聡 志			苅 谷 正 樹
	委員	郷 早 見		総務課長	萬 直 義
	教育長	月 田 健 二		総務課参事	三 富 一 忠
				学校教育課長	伊 藤 忠 信
				学校教育支援室参事	
					浦 田 和 秀
					金 子 武 史
				給食センター長	福 井 洋
				対雁調理場長	鈴 木 正 春
				生涯学習課主幹	渡 辺 美 登 里
				情報図書館長	大 村 勇 二
				郷土資料館長	小 林 則 幸
			欠席者	教育部次長	齐 藤 俊 彦
				生涯学習課長	岩 渕 淑 仁
			記録員	総務課総務係	阿 部 裕 介
			傍聴者	なし	

1 報告事項

- (1) 江別市一般会計補正予算の査定について
- (2) 統合校の学校名募集結果について

2 審議事項

平成26年議案第10号

平成26年度江別市一般会計教育予算案について

会 議 録

長谷川委員長	<p>(開会)</p> <p>それでは、ただいまから、平成26年第1回臨時教育委員会を開会いたします。本日の議事日程は配付のとおりであります。</p> <p>会議に先立ち、本日の会議録署名人を上野委員さんをお願いいたします。それでは、議事に入ります。</p> <p>1の報告事項(1)江別市一般会計補正予算の査定についての報告を求めます。萬総務課長お願いします。</p>
萬総務課長	<p>報告事項(1)江別市一般会計補正予算の査定について、私から一括説明いたします。</p> <p>前回の定例教育委員会におきまして、第1回定例市議会に提出を予定されている一般会計補正予算のうち、教育委員会所管分につきまして、財政部局の査定前の状態でご説明申し上げましたが、過日査定結果の通知を受けましたので、大きな変更点についてのみご説明いたします。</p> <p>資料1ページをご覧ください。10款2項小学校費については、江別第二小学校部分改築工事の工事費確定に伴う減額に加え、要求段階では予定していなかった中央小学校屋体暖房改修、江別太小学校校舎屋体改築実施設計、大麻小学校レンガ校舎解体、角山小学校木造校舎解体の各工事費等の確定に伴う減額を財政部局の査定により行うことになりました。</p> <p>資料2ページをご覧ください。前のページから続く10款3項中学校費については、要求段階では予定していなかった第一中学校校舎改築実施設計の委託料確定に伴う減額を査定の結果行うこととなりました。その他につきましては、ほぼ要求どおりの査定となっております。</p> <p>これらの結果、減額する補正額が増えたことから、教育部補正額の合計は要求額2億7,070万5,000円であったところ、査定後では2億2,836万9,000円となっております。以上です。</p>
長谷川委員長	<p>ただいま報告のありました江別市一般会計補正予算の査定について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(なし)</p> <p>それでは、本報告については終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p>
金子学校教育支援室参事	<p>次に、報告事項(2)統合校の学校名募集結果についての報告を求めます。金子参事お願いします。</p> <p>報告事項(2)統合校の学校名募集結果について、ご報告いたします。</p> <p>江別小学校・江別第三小学校統合校の学校名について、統合校準備委員会で検討するためのアイデアの募集が終了しましたので、その結果をご説明いたします。</p> <p>1の(1)募集期間は12月10日から1月31日まで実施しました。(2)の総件数は、166件の応募でした。校名としては、読み方で集計すると66件、また、漢字やひらがな、さらに頭に江別と付けたものなどを分けて集計すると、85件の校名応募がありました。(3)の応募内訳は、小学生が78件、一般が88件でした。(4)の地域別応募数は、校区内からの応募が103件、その他市内から53件、道内の他市町村から4件、住所の記載がなかったものが6件でした。</p> <p>2の応募学校名案に記載のとおり、応募された学校名は一覧表のとおりです。一つの読み方に対して、漢字やひらがななど、応募された表記そのままをすべて掲載しています。</p> <p>2月6日に実施された統合校準備委員会では、今後の検討方法について協議がなされ、今月下旬に開催される次回委員会までに、今回の校名候補の中から、各委員が採用したいと思う学校名を持ち寄り、検討対象の校名の絞り込みを行ったあと、さらに協議を進める方針が確認されました。以上です。</p>
長谷川委員長	<p>ただいま報告のありました統合校の学校名募集結果について、質問等がございましたらお受けします。</p>
郷委員	<p>この応募してくださった中から決まるということなんですか。それとも、それを参考にしながら、またアイデアを出すという形になるのでしょうか。</p>
金子学校教育支援室参事	<p>応募していただいた校名の中から選ぶということです。</p>

郷委員 長谷川委員長	<p>分かりました。 ほかはいかがでしょうか。それでは、本報告については終了してよろしいですか。 (一同了承)</p>
佐藤教育部長	<p>続いて、2の審議事項に入ります。 平成26年議案第10号平成26年度江別市一般会計教育予算案についての説明を求めます。佐藤教育部長お願いします。 初めに、私からは資料の3ページ、平成26年度江別市教育行政推進計画について、ご説明申し上げます。 来年度は、向こう10年間の第6次総合計画がスタートする節目の年になります。その基本理念の一つである子育て応援のまちの実現に向け、教育の充実を図るべく、子育て・教育政策では、未来のえべつを支える元気で情操豊かな子どもたちの育成を基本目標とし、生涯学習・文化政策では、心の豊かさを実感できる成熟した生涯学習のまち・えべつの実現を基本目標にしております。 取組の基本方針は子育て環境の充実、子どもの教育の充実、生涯学習の充実、ふるさと意識の醸成と地域文化の創造、市民スポーツ活動の充実となっており、総合計画の個別計画である江別市学校教育基本計画、第8期江別市社会教育総合計画、第5期江別市スポーツ推進計画及び第2期江別市子どもの読書活動推進計画などに基づき、未来を担う子どもたちが夢を語り合い、その実現に向かって切磋琢磨し、心豊かにたくましく成長できることを願い、市民一人ひとりが生き生きと豊かな人生を送ることができるよう、各種教育施策に取り組んでまいります。 新規の主要事項のみ申し上げますが、安全・安心な教育環境の実現に向け、校舎屋体耐震化事業では、江別第二小学校校舎部分改築工事を引き続き実施し、江別太小学校及び江別第一中学校の改築工事に着手するほか、江別小学校と江別第三小学校の統合校に係る改築実施設計等を行います。 学力向上に向けては、新たに全中学校で放課後の補充的学習に取り組み、情報教育推進事業では、小中学校の全学級に電子黒板を整備し、ICT教育環境整備を強力に推し進め、児童生徒の理解力向上を目指します。 小学校外国語活動支援事業では、すべての小学校の3・4年生について外国語活動を推進いたします。 特別支援教育では、今年度への前倒し補正により、野幌中学校に新たにエレベーターを設置して、肢体不自由特別支援学級を開設いたします。 生涯学習・社会教育では、災害時の避難所となる市民体育館の耐震化工事を実施するほか、大麻体育館の耐震診断を行います。 生涯学習事業では、地域の人材育成を目指し、ふるさと江別塾まちおこし市民大学講座をベースに、大学等との連携による事業内容の充実と周知方法の工夫を図り、新たにえべつ市民カレッジ（四大学連携生涯学習講座）事業として実施いたします。 また、セラミックアートセンターは開館20周年となりますので、市政施行60周年とも合わせて、記念の企画展等を開催いたします。予算の概要につきましては、総務課長からご説明いたします。</p>
萬総務課長	<p>それでは、続きまして、私から平成26年度教育予算の概要についてご説明申し上げます。 議案第10号、資料2ページの平成26年度教育予算案総括表をご覧ください。 表の一番下、合計欄に、総務費、商工費を含む教育関係予算全体を示しております。平成26年度当初予算額は52億8,837万5,000円で、平成25年度当初予算と比較いたしますと、金額で22億2,830万1,000円、率にして72.8パーセントの増となります。これに、26年度に予定していた事業のうち、国の好循環実現のための経済対策で前倒した学校施設整備事業など3月補正で追加する4事業分3億623万5,000円を加えますと、総額では55億9,461万円となり、平成25年度当初予算と比較して、額で25億3,453万6,000円、率で82.8パーセントの伸びとなります。 市の一般会計予算総額444億2,000万円、前年比8.7パーセントの増と比べると、非常に大きな伸びとなっており、教育関係施策の継続性、事業の緊急度や優先度などに一定の配慮がなされたものと考えております。</p>

萬総務課長	<p>次に教育予算のうち、増減の大きな科目についてご説明いたします。</p> <p>まず、10款教育費の小学校費と中学校費の学校営繕費をご覧ください。いずれも、平成25年度当初予算の4倍以上で、突出した増加となっております。これは、小学校費では校舎屋体耐震化事業として、平成25年度から着工した江別第二小学校の校舎部分改築工事のほかに、平成26年度は江別太小学校の校舎屋体改築工事などの費用が加わり、さらに江別小学校・江別第三小学校統合校建設事業として、仮設校舎の設置費用が加わるのが主な要因です。また、中学校費では、江別第一中学校の校舎改築などの費用が主な増加理由であります。</p> <p>次に、教育振興費であります。小学校費で約32パーセントの減少となった要因は、平成25年度は校務用・教育用パソコンの大幅な更新があったのが、26年度はなくなったことによります。ちなみに、中学校費は教育扶助費の認定者数の減少などにより、約8パーセントの減少となっているものであります。</p> <p>次に、社会教育費の2目文化振興費をご覧ください。前年度に比べ、額で約1,600万円、30パーセントの予算減となっております。これは文化財施設整備事業で実施した文化財整理室の煙突撤去費用がなくなったほか、26年度に予定していた文化財修復工事を補助金の都合で見送ったことが主な理由です。</p> <p>その1行下の公民館費は、中央公民館ボイラーの更新や野幌公民館ホールの窓枠改修など、施設の老朽化に対応した補修の費用が増加したことなどにより、約24パーセント増となっております。</p> <p>次に、保健体育費の2目体育施設費につきましては、社会体育施設の長寿命化対策として、市民体育館の外壁塗装及び窓枠改修を行うほか、大麻体育館の耐震診断を実施するため、前年度の3倍を超え、大きな伸びとなっております。</p> <p>次に、2款総務費の財産管理費ですが、教職員用集合住宅の屋上防水改修費がなくなったことにより、約半分の予算額となっております。さらに、その1行下の青少年問題協議会費は根拠条例の廃止提案に伴い、所要の予算を教育総務費の教育指導費に移したため、金額ゼロです。</p> <p>最後に、一番下のセラミックアートセンター費ですが、24、25年度の2か年にわたって実施した屋上防水改修工事がなくなったことなどにより、予算額が約24パーセント減少しております。私からは以上でございますが、詳細につきましては担当課長から説明いたします。</p>
三富総務課参事	<p>私から、総務課施設係の主な事業についてご説明いたします。</p> <p>資料の15ページをご覧ください。総務課施設係の上から1段目、校舎屋体耐震化事業（小学校）のうち、江別第二小学校の校舎改築工事は今年度末までに二階建て校舎の屋上部分までコンクリート工事が進み、全体の27パーセントが終了する予定です。平成26年度は、残る73パーセントについて工事を継続してまいります。工事費は、校舎改築工事が4億3,944万6,000円、改築校舎周辺の外構工事が2,720万円、仮設校舎解体が1,022万7,000円の予定でございます。ほか、江別太小学校校舎屋体改築工事については、平成26年度におおむね50パーセントの完成を目指しており、工事費は10億4,505万4,000円の予定でございます。</p> <p>次に、施設係の上から2段目、江別小学校・江別第三小学校統合校建設事業ですが、統合校実施設計、外構設計、現況測量等の委託のほか、プールの解体工事、仮設校舎の設置を行います。委託費は総額6,700万円、工事費は2億3,800万円を予定しております。</p> <p>次に、施設係の上から8段目、校舎屋体耐震化事業（中学校）のうち、江別第一中学校校舎改築工事については、平成26年度におおむね43パーセントの完成を目指しており、工事費は8億4,817万2,000円、仮設駐車場など外構工事では1,170万円を予定しております。</p> <p>なお、江別太小学校校舎屋体改築工事、江別第一中学校校舎改築工事は新年度に入札を実施し、国の補助内定通知後、議会の承認を得て着工する予定でございます。私からは以上でございます。</p>
伊藤学校教育課長	<p>続きまして、学校教育課分についてご説明いたします。</p> <p>資料の15ページ、下から4番目、小学校外国語活動支援事業についてであります。現在、小学校の外国語活動は5・6年生は必修で、年間35時間実施しております。4年生</p>

伊藤学校教育課長	<p>以下につきましては、外国語活動指導助手の空き時間帯を利用しまして、学校独自に国際理解教育として行っているところであります。</p> <p>文部科学省では、国際化に対応するため英語教育改革に取り組んでおり、江別市といたしましても、小学校の低学年から英語に触れ、慣れ親しむことにより、コミュニケーション能力を育成する基盤づくりを行うとともに、諸外国の生活や文化等について理解を深めるため、平成26年度から、江別市独自に市内統一で3・4年生について、年間12時間程度、総合的な学習の時間の国際理解教育として、外国語活動を実施いたします。</p> <p>なお、1・2年生につきましては、平成26年度は準備のできた学校から実施し、平成27年度においては全校で実施する予定であります。これらの事業を進めるために、現在5名いる外国語活動指導助手を1名増員し、6名体制にいたします。それらの経費が増額となり、1,998万円の予算となっております。</p> <p>次に、16ページをご覧ください。上から4番目の情報教育推進事業についてであります。ICTを活用した授業の充実と子供たちにとって分かりやすい授業を進め、学習意欲と理解力の向上を目指し、平成25年度に小中学校の学級数の2分の1に電子黒板を配置いたしました。平成26年度は、残りの2分の1のこの台数分、電子黒板を配置します。このことによりまして、全学級に電子黒板を1台ずつ配置できることとなります。予算といたしましては、平成25年度には小学校7校の教育用パソコンの更新、小学校の校務用パソコンの配置がありましたが、平成26年度はパソコンの更新等がないことから、25年度と比較すると減額となっておりますが、電子黒板の配置に関わる費用や過去に購入したパソコンの償還費用などにより、8,305万2,000円の予算となっております。</p> <p>次に、上から12行目の小中学校学習サポート事業についてであります。複数の教員による指導などにより、子供たちにとって分かりやすい授業を行うとともに、学力の向上を図るため、平成25年度は教員の資格のある方を授業における学習支援と、夏休みや冬休みの補充的な学習の支援のために小中学校に派遣しております。現在、中学校の一部では、放課後において希望者に補充的な学習支援を行っておりますが、平成26年度からは全中学校において、放課後に補充的な学習を実施し、生徒たちの一人ひとりに決め細やかな指導を行うことで、学力の向上を目指すものであります。そのために教員資格のある方を派遣するための経費を増額し、931万7,000円の予算となっております。学校教育課分は以上であります。</p>
浦田学校教育支援室参事	<p>続いて、特別支援教育担当所管分についてご説明いたします。</p> <p>障がいのある子供たちの教育環境を整備するため、野幌中学校に新たにエレベーターを設置して、肢体不自由特別支援学級を開設いたします。このエレベーター設置工事業は、今年度の前倒し補正により実施するため、先ほど報告いたしました一般会計補正予算の特別支援教育推進事業（経済対策）となりますが、事業費は補正額4,275万8,000円となります。野幌中学校には、校区内の東野幌小学校、野幌若葉小学校から、今後肢体不自由児の入学が続く予定であります。26年度は男女一人ずつの入学が決まっており、28年度には男女一人ずつの入学が見込まれますので、この年度には4人が在籍することが想定されております。肢体不自由生徒の学校活動の大半を通常学級で授業を受けるため、普通教室、特別教室などの移動が日常的に行われるため、上下階の移動手段であるエレベーターを設置するものです。私からの説明は以上でございます。</p>
渡辺生涯学習課主幹	<p>生涯学習課所管分についてご説明いたします。</p> <p>資料の18ページをご覧ください。上から10行目、えべつ市民カレッジ（四大学連携生涯学習講座）事業についてであります。これは、えべつ未来戦略の推進プログラム1Bの②知的資源である大学が持つ力を活かした教育・人材育成の促進に位置付けられている事業です。</p> <p>従来ふるさと江別塾に加え、市内4大学で開催している市民公開講座と連携し、総合的に生涯学習講座情報を市民に提供することにより、学習機会の拡大を図ってまいります。</p> <p>次に、資料19ページをご覧ください。下から3行目、体育施設整備更新事業（体育施設耐震化）についてであります。当初は市民体育館の耐震補強工事と外壁塗装、窓枠改修、大麻体育館の耐震診断を要求しておりましたが、耐震補強工事に関しては平成25年度の補正予算での要求に変更したことから、耐震補強工事を除いた事業費の査定額となっております。</p>

渡辺生涯学習 課主幹 長谷川委員長 上野委員	<p>なお、耐震補強工事は26年度に予算を繰り越し、耐震補強工事、外壁塗装、窓枠改修を同時期に実施する予定です。以上です。</p>
萬総務課長	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。 総体的な額は52億8,800万円で、前回の査定前の数字は62億円ぐらい、10億円ぐらい落ちていますが、一番大きい学校関係の改修とかの金額がほぼ決まっただとか、そういう部分で総体的に10億円ぐらい下がったんですか。</p>
長谷川委員長 郷委員	<p>当初の要求ベースで、前回までにご審議いただいた内容のうち、3億円ほどは前倒しになったために減少しております。そのほかの部分については、学校施設の改修関係で一部の工事が査定されなかったことなどがございまして、査定減になったものの積上げでそういった金額になったものであります。以上です。</p>
伊藤学校教育 課長	<p>ほかはいかがでしょうか。 学校教育課学校教育係の小中学校学習サポート事業について、ちょっとお聞きしたいんですけれども、予算の内容と言うよりは内容で、全中学校で実施するというので、例えば、各中学校何名配属するとかの計画はできているんですか。</p>
郷委員 長谷川委員長	<p>既にやっている中学校がございまして。そちらの学校の例でいきますと、1日1時間から1時間半程度で、中学生は30人から多いときで40人程度ということでございます。 中学校ですので、部活動との兼ね合いがあるんですけれども、放課後の授業、1時間から1時間半の中で参加したい時間帯だけ参加できますので、30分放課後学習をしてから部活動に出るとか、各学校で任意で行っているところでございます。</p>
伊藤学校教育 課長 長谷川委員長 郷委員	<p>それらの状況も踏まえまして、今回各学校には必ず学校では取り組んでいただきますけれども、週何回やるかという部分については、ある程度学校の事情がありますので、学校判断で行っていただく。また、中体連ですとか学校祭等の時期につきましては、たぶんそちらの活動が主になるとお思いますので、そういった行事で忙しい時期については、学校判断で中止せざるを得ないことも構わないという話をしております。</p>
福井給食セン ター長	<p>現在、各学校から希望の回数を募っております。数学、英語を中心に希望がありまして、多い学校で週に4日、少ない学校で週1日程度ということ、各学校からの申請を受付しております。あと、こちらからは学校に派遣する先生を、今ボランティアで公募をかけますとともに、募集して配置をしておりますが、おおむね学校の希望どおり配置できるような状況になっております。以上です。</p>
郷委員 長谷川委員長 月田教育長	<p>ありがとうございます。 予算的には100万円ぐらいしか増えていませんが、今、希望のある学校に対して問題はないですか。</p>
福井給食セン ター長	<p>ただいま各学校から申請のあった分は、十分予算の範囲内で対応できる状況でございます。</p>
郷委員 長谷川委員長 月田教育長	<p>ほかはいかがですか。 給食センターで、ドライ仕様移動台購入とありますが、ドライ仕様とはどういうものですか。</p>
福井給食セン ター長	<p>給食センターの床は、昔は水をまいて洗ってまして、こういうものをウェット方式と言います。この方式は非常に細菌が繁殖しやすいということで、現在はドライにするようにということで、衛生管理基準が決まっています。ですから、滑らないようなツルツルのもので水をこぼした場合はすぐふき取る。通常、乾いた状態にするという意味のドライです。このドライ仕様の台ということは、真っ平らでは水がついていますと床に落ちますので、例えば、へりが上がっていて、水がこぼれ落ちないように仕様の移動台でございます。例えば、シンクですと跳ね返りがあって、外にバシャッと出ないようになっていますが、それもドライ仕様です。</p>
郷委員 長谷川委員長 月田教育長	<p>分かりました。ありがとうございました。 ほかはいかがですか。</p>
郷委員 長谷川委員長 月田教育長	<p>予算にかかる庁議というものがありまして、そのときに副市長も同じ意見だったんですけれども、市長から26年度の予算というものは教育部のための予算ではないかというようなことを言われていました。2ページにありますように、増加率が72.8パーセント、前倒しを含めると82パーセントぐらいになる、ものすごい増加になっています。教育部としては、非常に有難いと思っております。予算が付くということは、逆に考えれば、普通の年よりも教育部の皆さんの仕事のものすごく忙しくなるということになります。か</p>

<p>月田教育長 長谷川委員長</p>	<p>なり襟を正して執行していかなければならないと思っていますので、しっかりやっていきたいと思っております。</p> <p>この予算が決定した場合には、少しでも1か月でも早く導入したほうがより効果が上がる事業もありますので、その辺の段取りもお願いします。例えば、電子黒板一つにしても数ですから、早めに準備して、できるだけ早く成果を上げることができるような形でお願いしたいと思います。</p> <p>ほかはいかがでしょうか。それでは、平成26年議案第10号平成26年度江別市一般会計教育予算案についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>以上をもちまして、第1回臨時教育委員会を終了いたします。</p>
-------------------------	---

終了 午後2時40分

署名人（委員長） 長谷川 清明

署 名 人 上野 聡志